

敷金返還（記載例）

（注）□欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請 求 の 趣 旨

- 1 被告は、原告に対し、次の金員を支払え。
 - (1) 金 120,000 円
 - (2) 上記金額に対する
 - 令和5年 5月 1日
 - 訴状送達の日の翌日から支払済みまで年 ● パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は、被告の負担とする。
- 3 この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点（請求の原因）

- 1 賃貸借契約の内容
原告は、被告との間で、次のとおり、賃貸借契約を締結し、引渡しを受けた。
 - (1) 契約日 令和2年 4月 1日
 - (2) 賃借物件
所在 千葉県市川市鬼高2-20-20
名称（アパート名等）及び棟室番号
コーポ市川 101号
 - (3) 賃料 金 60,000 円
 - (4) 賃借期間 2年 定めなし
 - (5) 交付した敷金の額 金 120,000円
 - (6) 敷金返還についての約定 建物の明け渡しの1か月後に返還する。
定めなし
- 2 賃貸借契約終了日 令和5年 3月 31日
- 3 物件を明け渡した日 令和5年 3月 31日
- 4 その他の事情
 - 敷金から控除を認める額 金 円
 - 返還された敷金の一部 金 円
 - 被告は、敷金をリフォーム費用に充当したので、返還すべき敷金はないと言って支払わない。

添 付 書 類

- 賃貸借契約書 重要事項説明書 家賃入金関係書類